

平成27年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成28年3月

岩国市（山口県）

○計画期間：平成26年11月～平成32年3月（5年5月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成26年11月以降、認定基本計画に基づき、「県東部の中核都市にふさわしい『多くの人が集まり、楽しく暮らせるにぎわいのあるまちづくり』を基本テーマに掲げ、「公共交通機関等が安全で利用しやすいまちづくり」「活力と魅力あふれるまちづくり」「みんなに優しく、にぎやかで楽しく歩き回れるまちづくり」を基本方針のもと計画を推進している。

今年度においては、既存事業の空き店舗活用奨励事業による家賃の助成や本通商店街アーケードの改修のほかに新規事業としてまちなか商店リニューアル助成事業による店舗改装費用の助成、起業のノウハウの習得を支援するサロンの開催、街区公園のリニューアルを行うなど計画掲載事業を実施した。また、タウンマネージャーを招聘し、エリアマネジメント調査やイベントの企画・開催とともに国の地方創生予算を財源とし、中通商店街の空き店舗に、未創業者を支援する出店サポートセンター及びアンテナショップを整備した。それらもあって空き店舗率の改善や卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数などに一定の成果がみられた。

そのほか特筆すべき事項として、中心市街地活性化基本計画がスタートに呼応するかのよう
に岩国ジャズストリートをはじめとする市民団体が実施するイベントが中心市街地内において生まれたことが挙げられる。

しかしながら目標指標のうち歩行者等通行量については、数値が改善しておらず、今後、エリアマネジメントによる現状分析や集客力を高めるための施策等が必要と考えられる。

来年度以降も、タウンマネジメント会議を中心とし、官民が協働で計画目標に向け引き続き事業を着実に実施していくこととしている。

2. 平成27年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

本年度の事業の取組みに対しては、空き店舗率の改善など一定の成果が見られるので、継続して事業を取り組んでほしい。また、今回の計画認定時点において計画事業の熟度不足等により、基本計画に掲載できなかった民間事業者による拠点整備事業については、中心市街地活性化協議会内に専門部会を設置したところですが、今後も事業化に向けた協議・検討及び岩国市と協議会の連携強化並びに相互協力が不可欠と考えますので、よろしくお願い致します。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
快適な交通環境の創出	①JR 岩国駅の乗降客数	11,646 人 (H25)	13,470 人 (H31)	11,444 人 (H26)	-	①
活力と魅力あふれる商環境の創出	②卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数	687 店 (H24)	695 店 (H31)	713 店 (H27)	①	①
〃	③本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率	17.5% (H25)	11.8% (H31)	14.3% (H27)	①	①
誰もが住み良い環境の創出	④歩行者等通行量(平日)	33,716 人 (H22~25の平均)	35,470 人 (H31)	31,252 人 (H27)	①	①
〃	⑤歩行者等通行量(休日)	32,436 人 (H22~25の平均)	34,080 人 (H31)	28,946 人 (H27)	①	①
〃	⑥イベント・教室等開催件数	5,296 件 (H25)	6,140 件 (H31)	5,617 件 (H27)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の JR 岩国駅の乗降客数については、最新値が基準値を下回っているものの岩国駅周辺整備事業のうち東西自由通路について橋上駅舎化とともに平成 27 年 11 月に本体工事に着手するなど事業は順調に推移しており、目標達成可能と見込んでいる。

②の卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数については、店舗改装費用や新規出店者に対する家賃を助成することによって一定の成果がみられ、平成 28 年度以降も予定通り実施することにより目標達成可能と見込んでいる。なお、最新値のうち 29 件の増加分については、平成 26 年の経済センサスにおいて前回の平成 24 年調査からスナック・バーが増加していたものである。

③の空き店舗率については 3.2%改善したが、主な要因として、中通商店街において中心市街地活性化事業実施により改善したことよるものと中央通り商店街の空き店舗にオフィスが入居するなどで改善した。今後も②で述べた店舗改装費用や新規出店者に対する家賃の助成な

どを予定通り推進していくことで目標達成可能と見込んでいる。

④・⑤の歩行者等通行量について、主な増加要因を岩国駅周辺整備事業や事業所数の増加に伴う効果及びイベント・教室等の開催件数としている。今回のフォローアップでの数値は基準値を下回っているが、主に岩国駅周辺整備事業を中心に順調に事業進捗しているものの、その効果の発現がまだ見込まれないこと、岩国ジャズストリートをはじめとする市民団体が実施するイベントが生まれたことなどから、数値の動向を注視していく必要があるが、目標達成は可能な範囲と見込んでいる。

⑥のイベント・教室等開催件数については、働く婦人の家において実施されている教室が順調に数値を伸ばしてきていることや市民団体が実施するイベントが生まれていることなどから目標達成可能と見込んでいる。

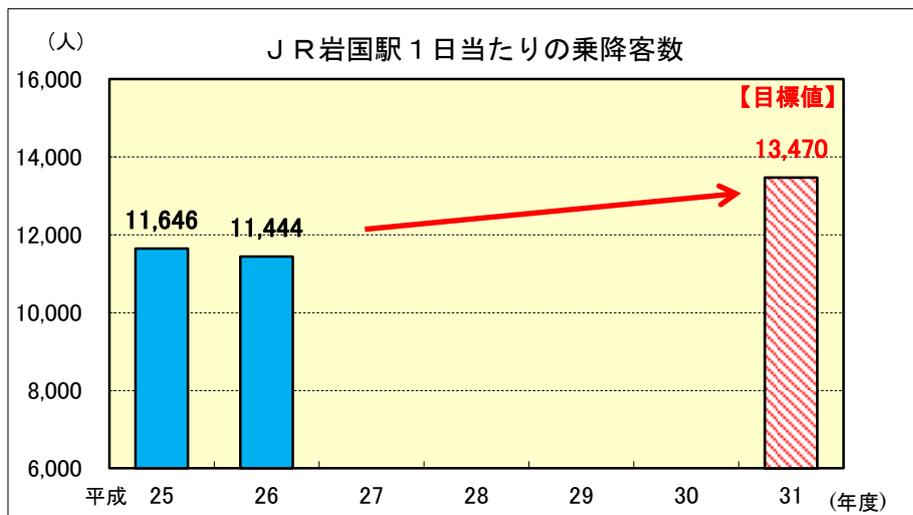
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回から見通しは変わっていない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「JR 岩国駅の乗降客数」※目標設定の考え方基本計画 P68～P74 参照

●調査結果の推移



年度	(単位：人)
H25	11,646 人/日 (基準年値)
H26	11,444 人/日
H27	
H28	
H29	
H30	
H31	13,470 人/日 (目標値)

※調査方法：西日本旅客鉄道(株)に聞き取り調査。

※調査月：平成26年4月～平成27年3月（集計は毎年7月実施）

※調査主体：西日本旅客鉄道(株)

※調査対象：JR 岩国駅の乗降客数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 岩国駅周辺整備事業（岩国市、西日本旅客鉄道株式会社）

事業完了時期	平成25年度～平成31年度【実施中】
事業概要	JR 岩国駅のバリアフリー化、東西の地域をつなぐ自由通路の整備、東西の駅前広場の再整備等を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を1,740人/日増と見込んでいる。 本事業のうち、市の東西自由通路、西口駐輪場連絡通路、岩国市スペース及び西日本旅客鉄道株式会社の橋上駅舎の実施設計を行った。また、平成27年11月には東西自由通路・橋上駅舎の本体工事に着手した。

②. モビリティ・マネジメント事業（岩国市）

事業完了時期	平成27年度～平成30年度【実施中】
事業概要	過度の自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を目的とした啓発活動等を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を630人/日増と見込んでいる。 モビリティマネジメント事業の計画では、市職員、市内企業、転入者を対象としたコミュニケーションアンケートを行うとともに、公共交通総合時刻表とマップを市民に配布する予定としている。平成27年度では、市職員を対象にコミュニケーションアンケートを行うとともに、公共交通総合時刻表とマップを配布した。

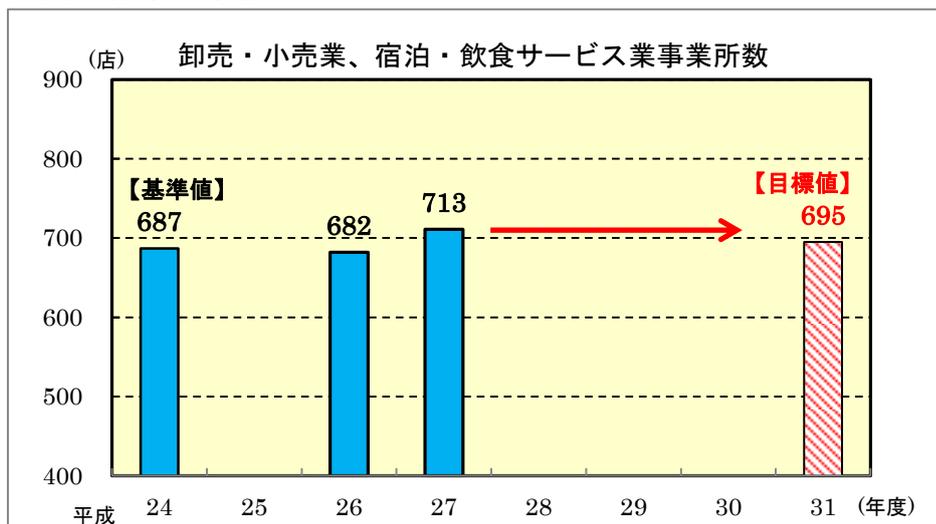
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 26 年度は、最新値が基準値を下回っているものの岩国駅周辺整備事業のうち東西自由通路について橋上駅舎とともに平成 27 年 1 1 月に本体工事に着手するなど事業は順調に推移しており、目標達成可能と見込んでいる。

「卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数」

※目標設定の考え方基本計画 P74～P78 参照

●調査結果の推移



年度	(単位：店)
H24	687 店 (基準年値)
H26	682 店
H27	713 店
H28	
H29	
H30	
H31	695 店 (目標値)

※調査方法：基準年値データ（H26 経済センサスデータ）を基に机上及び現地調査を実施。

※調査月：平成 28 年 2～3 月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地を含む丁目単位の卸売・小売、宿泊・飲食サービス業の事業所

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）

事業完了時期	平成 20 年度～平成 30 年度【実施中】
事業概要	エリア内の空き店舗の新規出店者に奨励措置を行う。 経営基盤の安定化や店舗の魅力向上が図られると同時に、新たな出店を促進する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を 50 店舗の増と見込んでいる。 認定日以前の新規出店はアーケードに面した商店街の空き店舗を奨励の対象としていたが、認定日以後は、エリアを拡大し、中心市街地計画区域全域においてを対象とすることとした。平成 27 年度は 12 店舗を奨励措置の事業所に指定した。

- ②. 隠れ家探訪事業（岩国市）
- ③. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）
- ④. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）

事業完了時期	平成27年度～平成30年度【実施中】
事業概要	<p>顧客獲得に資する情報発信や店舗改装等の費用の支援、起業の際のノウハウの提供等、さまざまな観点から、店舗の経営基盤の安定化、魅力向上等を図り、事業所の出店を促進する。</p> <p>②商店街や公共施設と隠れ家的に存在する個店が連携を図るために個店の情報を発信する。</p> <p>③店舗経営を行う人、これから行おうとする人に対し、店舗改装等の費用を助成する。</p> <p>④起業を目指す者に対し、ノウハウの習得を支援する。</p>
事業効果及び進捗状況	<p>本3事業による事業効果を5店舗の増と見込んでいる。</p> <p>②の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。</p> <p>③のまちなか商店リニューアル助成事業においては、28事業者が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち7件が新規事業者であった。</p> <p>④の起業家スター誕生支援事業においては、まちなか創業サロンとして8月・11月・2月の3回実施し、延べ44名が受講した。</p>

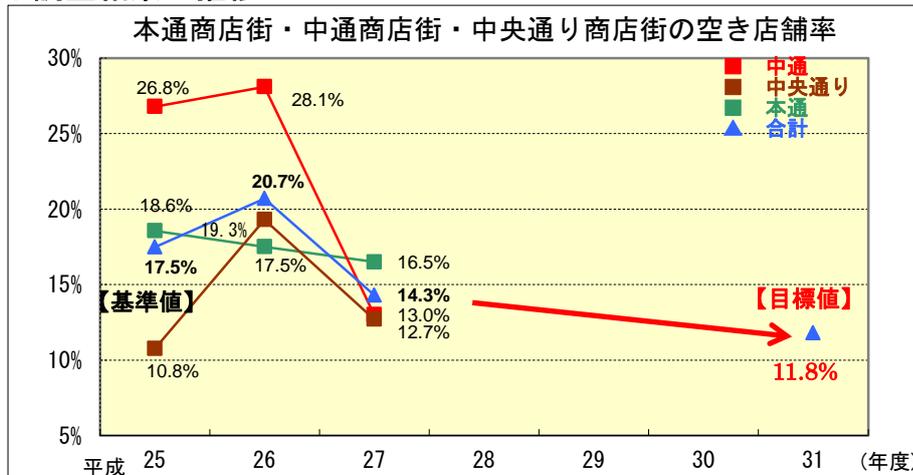
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成27年度は、空き店舗活用奨励事業やまちなか商店リニューアル助成事業において一定の成果がみられ目標達成可能と見込んでいる。平成28年度以降も予定している上記の事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率」

※目標設定の考え方基本計画 P78～P82 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H25	17.5% (基準年値)
H26	20.7%
H27	14.3%
H28	
H29	
H30	
H31	11.8% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：平成27年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通商店街・中央通り商店街

- ①. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）【再掲】
- ②. 隠れ家探訪事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）【再掲】

事業完了時期	(再掲)
事業概要	(再掲)
事業効果及び進捗状況	<p>店舗総数は、246店舗が平成31年度末まで推移するものとし、本4事業による事業効果を17店舗の増と見込んでいるため、空き店舗率は11.8%になることを見込んでいる。</p> <p>①の空き店舗活用奨励事業においては、認定日以前の新規出店はアーケードに面した商店街の空き店舗を奨励の対象としていたが、認定日以後は、エリアを拡大し、中心市街地計画区域全域においてを対象とすることとした。平成27年度は12店舗を奨励措置の事業所に指定した。</p> <p>②の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。</p> <p>③のまちなか商店リニューアル助成事業においては、28事業者が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち7件が新規事業者であった。</p> <p>④の起業家スター誕生支援事業においては、まちなか創業サロンとして8月・11月・2月の3回実施し、延べ44名が受講した。</p>

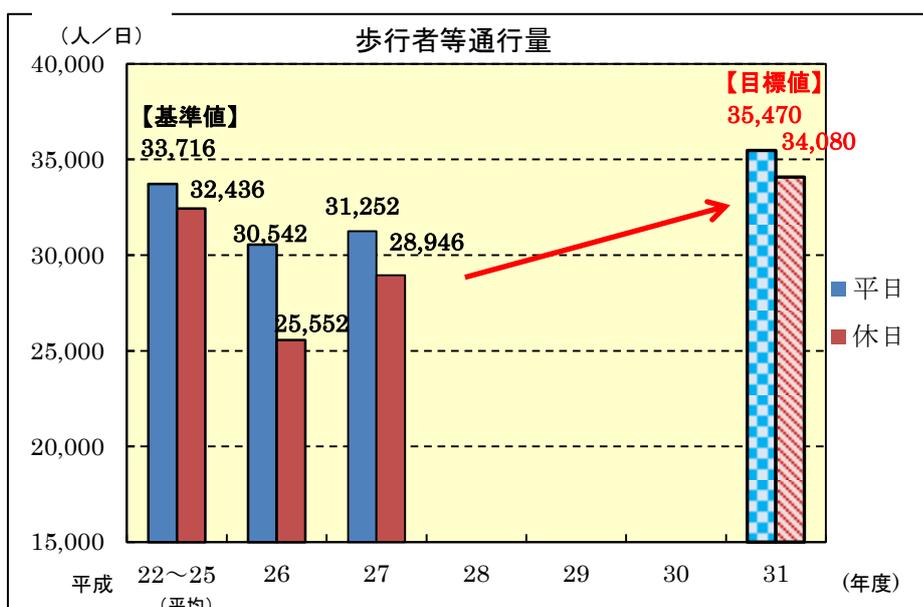
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 27 年度は、3.2%改善したが、主な要因として中通商店街における空き店舗率が空き店舗活用奨励事業やまちなか商店リニューアル助成事業などの中心市街地活性化事業により飛躍的に改善したことによるもので、目標達成可能と見込んでいる。平成28年度以降も予定している上記の事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P82～P88 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H22	平日 33,716 人/日
~25	休日 32,436 人/日
平均	(基準年値)
H26	平日 30,542 人/日
	休日 25,552 人/日
H27	平日 31,252 人/日
	休日 28,946 人/日
H28	
H29	
H30	
H31	平日 35,470 人/日
	休日 34,080 人/日
	(目標値)

※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年2月の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：平成28年2月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内12地点

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 岩国駅周辺整備事業（岩国市、西日本旅客鉄道株式会社）

事業完了時期	(再掲)
事業概要	(再掲)
事業効果及び進捗状況	<p>本事業による事業効果を平日700人/日増、休日673人/日増と見込んでいる。</p> <p>本事業のうち、市の東西自由通路、西口駐輪場連絡通路、岩国市スペース及び西日本旅客鉄道株式会社の橋上駅舎の実施設計を行った。また、平成27年11月には東西自由通路・橋上駅舎の本体工事に着手した。</p>

- ②. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）
- ③. 隠れ家探訪事業（岩国市）
- ④. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）
- ⑤. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）

事業完了時期	（再掲）
事業概要	（再掲）
事業効果及び進捗状況	<p>本4事業による事業効果を平日 835 人/日増、休日 803 人/日増と見込んでいる。</p> <p>②の空き店舗活用奨励事業においては、認定日以前の新規出店はアーケードに面した商店街の空き店舗を奨励の対象としていたが、認定日以後は、エリアを拡大し、中心市街地計画区域全域においてを対象とすることとした。平成 27 年度は 12 店舗を奨励措置の事業所に指定した。</p> <p>③の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。</p> <p>④のまちなか商店リニューアル助成事業においては、28 事業者が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち 7 件が新規事業者であった。</p> <p>⑤の起業家スター誕生支援事業においては、まちなか創業サロンとして 8 月・11 月・2 月の 3 回実施し、延べ 44 名が受講した。</p>

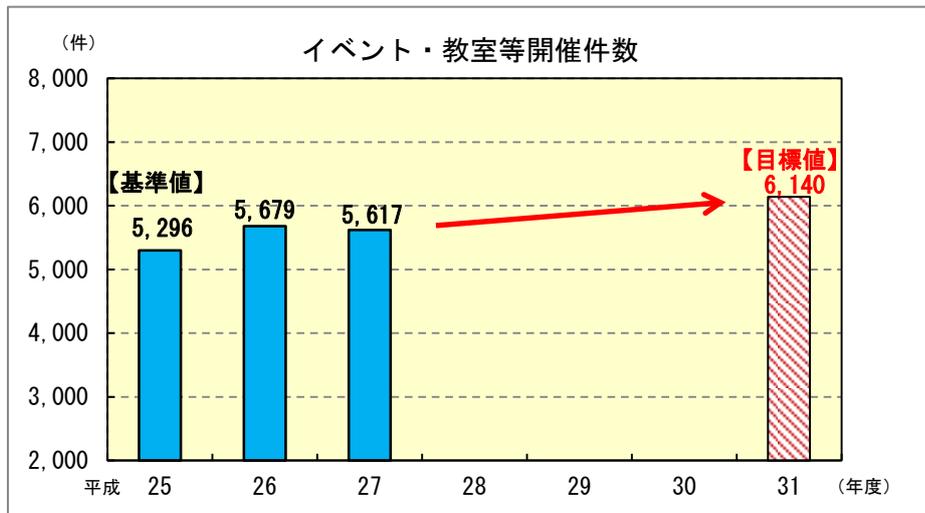
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 27 年度は、今回のフォローアップでの数値は基準値を下回っているが、主に岩国駅周辺整備事業を中心に順調に事業進捗しているものの、その効果の発現がまだ見込まれないこと、岩国ジャズストリートをはじめとする市民団体が実施するイベントが生まれてきていることなどから、目標達成は可能な範囲と見込んでいる。平成 28 年度以降も予定している上記の事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「イベント・教室等開催件数」

※目標設定の考え方基本計画 P88～P93 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H25	5,296 件 (基準年値)
H26	5,679 件
H27	5,617 件
H28	
H29	
H30	
H31	6,140 件 (目標値)

※調査方法：事業実施者からの聞き取り調査

※調査月：平成28年3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：計画に掲載している中心市街地イベント・教室等

- ①. 働く婦人の家リニューアル事業（岩国市）
- ②. 福祉会館リニューアル・耐震化事業（岩国市）

事業完了時期	① 働く婦人の家リニューアル事業 平成27年度～平成28年度【実施中】 ② 福祉会館リニューアル・耐震化事業 平成28年度～平成29年度【未】
事業概要	① 働く婦人の家リニューアル事業 未利用スペースを活用し、より多くの開催環境を整備する。 ② 福祉会館リニューアル・耐震化事業 耐震化事業を実施して施設の安全性を確保するとともに、一層の利用促進を図る。
事業効果及び進捗状況	本2事業による事業効果を659件増と見込んでいる。 両事業とも大規模なリニューアルは実施されていないが、①の働く婦人の家リニューアル事業は、平成27年度に図書室の壁クロスの全面貼り替えを実施した。また、平成27年3月議会にて、利用促進のため、それまで貸室となっていなかった部屋を第2講習室として貸室に変更する条例改正をし、講習室全体の利用件数が66件純増した。

③. 地域交流センター等活用事業（岩国市・民間）

事業完了時期	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	主として街づくり機運を高める勉強会等を開催する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を 100 件増と見込んでいる。 順調に施設を活用されており 1 2 3 件の実績があった。引き続き平成 28 年度以降も利用促進をしていくこととする。

●目標達成の見通し及び今後の対策

働く婦人の家を中心に順調に教室が実施・開催されていることから目標達成可能と見込んでいる。平成 27 年度は、タウンマネージャーによるイベントの企画・開催がなされ、これらが継続されていくこととともに基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより目標達成に向けて取り組んでいく。